



龍のまなび舎 No.4

須坂高校のまなびを紹介する不定期ニュースレター
北信「五岳」にちなんだ、須坂の5つのゴガクを紹介します



2 学年「総合的な探究の時間」プロジェクト進行中！

今年度、2 学年の「探究」では、「社会とつながる」をテーマに、生徒が自ら手・足・頭・心を動かしてさまざまなプロジェクトに参加することで学びを深めています。数あるプロジェクトの1つ、『小学生×高校生 井上公民館通学合宿プロジェクト』に参加する生徒が、井上小学校高学年のクラブ活動に参加させていただきました。1 時間程度の短い時間でしたが、小学生のみなさんも、お兄さんお姉さんが来たことを歓迎してくれ、教えたり教えられたり、いつもとは違う新鮮な時間になったようです。ゲートボールクラブや手芸クラブ、書道クラブなどなど、地域の方を講師に迎えたクラブ活動もあり、年代や所属を超えた交流の機会となりました。



ミーティングの様子



工作のお手伝い



ブックカバーづくり

井上小学校の先生からは、小学生との関わり方、子供と接するプロとしての先生方の姿勢から学ぶことの大切さを教えて頂きました。参加した高校生は、さまざまな『先生』から学ぶことができたようです。

哲学対話を行いました



2018 年度から須坂高校で行われている『哲学対話』。本校の卒業生である、長野県立大学の馬場智一先生を講師にお招きして、「問う、問われる」ことで、真剣に「考える」練習をしています。

2 年生は、探究の活動でインタビューを行う際に、どんな聞き方をしたら相手に気持ちよく答えてもらえるのかを考えて質問をする練習をしました。まずは相手の話の腰を折らずにきちんと話を聞くこと。相手の答えを受けて、更に具体的な質問をすることが大切です。

1 年生は、クラスをごちゃまぜにしたグループを作り、「クラス替え」について自分の意見から生まれた問いを立て、それぞれの意見を出し合いました。こんな感想が寄せられています。



- ◆問うことは、改めて自分の考えを整理すること。自分に問うことも武器になった。
- ◆自分と違う意見の人と話したことで考えが変わるかもしれない
- ◆問われると深く考えるって聞いた時？って感じだったけど改めてやってみたら楽しかったし今後なにかがわからなくなってしまう時などは問いを立ててみようと思った。